

みんなで考える 共生社会と ボランティアMIZUHO

みんボラMIZUHO

瑞穂区では、瑞穂公園陸上競技場をメイン会場として開催されるアジアパラ競技大会にむけて、障害やボランティアについての理解を深め、誰もが参加できる方法とともに考えるプロジェクト「みんなで考える共生社会とボランティアMIZUHO」に取り組んでいます。

第2回 ワークショップ参加者募集

令和7年1月に行った第1回ワークショップでの話し合いや、事前に実施した区民アンケートの結果をもとに、障害のある人もない人も一緒に語り合いながら、アジアパラ競技大会の期間中にボランティアを通じてお互いの理解を深めていく方法を、一緒に考えるワークショップを開催します。

日 時：令和7年6月7日(土) 13:30から

場 所：瑞穂区役所講堂

対 象 者：瑞穂区在住、在勤、在学の方

申込期限：令和7年5月23日(金)まで(先着順)

申 込 み：WEB・FAX・電話・瑞穂区役所福祉課窓口のいずれかでお申し込みください。

※詳しくは裏面をご覧ください。

定員

60名

学生の方の
参加もお待ちして
おります



ウズミン

詳しくは
こちら！



ご参加いただいた方には、記念品をお渡しします。
(アジアパラ競技大会公式ライセンスグッズ)

第1回ワークショップでは…

第1回ワークショップに参加された皆さまからは、「障害や障害のある人への理解が深まった」とアンケートでご回答いただきました。

そのほかにも障害のある方の力になりたいという皆さまの熱意を感じました。

「次は若い方にもご参加いただき、幅広い年代の方の意見をお聞きできればと思います。」

「障害のある方の声を聞かせていただけてよかった。これからもこのような機会があるとよいと思いました。」

などのお声をいただきました。



コーディネーター



日本福祉大学社会福祉学部
社会福祉学科教授

木全 和巳 氏

名古屋市あけぼの学園、名古屋市くすのき学園などを経て現職。主な研究テーマは、権利擁護、障害者総合支援法等のしょうがい児者福祉政策・ソーシャルワーク実践など。

今後のスケジュール(予定)

2025年 12月 障害理解促進のための講演会の開催

2026年 5月 ボランティア活動のメンバー募集開始

10月 アジアパラ競技大会に来場される障害のある方へのボランティア活動実施



ふりがな	
氏名	
年代	☐ 20代以下 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上
連絡先	電話
	FAX
住所	
必要な配慮	1. 手話通訳 2. 要約筆記 3. その他（ ）

FAX : 052-802-9355



An illustration of a woman and a young boy. The woman, on the left, has brown hair and is wearing an orange t-shirt and dark blue trousers with rolled-up cuffs. She is waving with her right hand and has her left hand on her hip. The boy, on the right, has orange hair and is wearing a red polo shirt and dark blue trousers. He is waving with his right hand. Both characters are smiling.

名古屋市総合リハビリテーション事業団 瑞穂区障害者基幹相談支援センター

